



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4603		
科目名	ゼミナールⅢ		
担当教員	大八木 時広		
対象学年	4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 5		
講義室	1311	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 4－F [探求力・課題解決力] 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 5－J [創造的挑戦力・達成力] コンピテンスの開発を障害にわたり継続しておこぬことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを核心的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 D P 6－K [表現力・対話力] 文章および口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 D P 7－L [協働力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を高めることができる。 D P 8－M [省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック(CR)との関連 E1 学識・専門技能-20% F1 探求力-10% F2 課題解決-10% J1 継続的学修基盤-10% J2 創造的思考-10% K1 ライティング・コミュニケーション-10% K2 オーラル・コミュニケーション-10% L1 チームワーク-10% M1 統合的・応用的学修-10%		
教員の実務経験	特になし		
成績ターゲット区分	■ 能力開発の目標ステージとの対応 3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	危機管理とその基礎となる法学に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。学生自らが危機管理に関する問題を発見し、仮説を構築し、自力で仮説を検証することにより、問題の解決につなげ、危機管理能力を養います。ここでは、卒業論文につながる個人研究に関して、実際に歴史文献の収集や、社会調査、事例分析や法学的検討など実証的な研究活動を通じて、オリジナルの一次資料による個人研究の作業を開始し、指導します。授業形態は		

	演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■ キーワード オリジナル資料収集、社会的問題意識、研究手法										
授業の趣旨	■ 副題 卒論テーマを決定し、必要な文献・資料を収集します。 ■ 授業の目的 この授業では卒論テーマを正式に決め、その研究に必要な文献・資料を検索・収集し、読解と分析を行ない、その成果をゼミナールにおいて研究報告の形でプレゼンします。 ■ 授業のポイント 卒論テーマに必要な文献・資料を探し出し、読み込むこと、さらにその結果を研究報告の形でプレゼンできることに重点を置きます。										
総合到達目標	■ 個人研究のテーマに関する文献・資料を検索し収集することができる。 - 適切なデータ・文献・資料を検索することができる。(第1～15回) - データ・文献・資料を客観的かつ論理的に読むことができる。(第1～15回) - 文献・資料から適切に専門知識を得ることができる。(第1～15回) ■ 個人研究に関するデータや事例を分析することができる。 - 統計などから、個人研究に関するデータを適切に選択することができる。(第1～15回) - 統計などから、個人研究に関するデータを適切に分析することができる。(第1～15回) - 個人研究に必要な事例を、適切に選択することができる。(第1～15回) - 個人研究に必要な事例を、適切に分析することができる。(第1～15回) ■ 個人研究のテーマに分析結果を結びつけて論じ、発表することができる。 - 分析結果を、自ら設定した課題に適切に結びつけることができる。(第1～15回) - 分析結果を、適切に発表することができる。(第1～15回)										
成績評価方法	■ レポート3回(100%)：適用ルーブリック E1・F1・F2・J1・J2・K1・L1・M1 (評価の観点) 授業の内容を踏まえて、知識が身についているか、テーマに関して論理立てて明確に自分の考えを示せるかについて評価します。 (フィードバック) 解説はクラスルームで配布します。										
履修条件	ゼミナールⅠ～Ⅱを履修し、単位を取得していることが条件です。										
履修上の注意点	特にありません。										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 卒論に関する説明。個人研究のプレゼンに関する説明(E1,F1,F2,J1,J2,K1,K2,L1,M1)を行う。 ③予習(120分) 個人研究の計画(書)を作成しておく。 ④復習(120分) ガイダンスを受けて、個人研究の計画書の修正。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 卒論に関する説明。個人研究のプレゼンに関する説明(E1,F1,F2,J1,J2,K1,K2,L1,M1)を行う。 ③予習(120分) 個人研究の計画(書)を作成しておく。 ④復習(120分) ガイダンスを受けて、個人研究の計画書の修正。	2	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。	3	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。	4	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要
回	内容										
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 卒論に関する説明。個人研究のプレゼンに関する説明(E1,F1,F2,J1,J2,K1,K2,L1,M1)を行う。 ③予習(120分) 個人研究の計画(書)を作成しておく。 ④復習(120分) ガイダンスを受けて、個人研究の計画書の修正。										
2	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。										
3	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。										
4	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要										

	ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のResearch(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのResearchと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。
5	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のResearch(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、クラスルームで配布する。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのResearchと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。
6	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のResearch(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのResearchと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。
7	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のResearch(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのResearchと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。
8	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のResearch(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのResearchと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。
9	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のResearch(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのResearchと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。
10	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のResearch(E1,F1,F2)、発表

		(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、クラスルームで配布する。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。
	11	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(FE1,1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。
	12	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。
	13	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。
	14	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、クラスルームで配布する。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。
	15	①授業テーマ 卒論テーマの個人研究発表 ②授業概要 ゼミ生による卒論テーマに関する個人研究のリサーチ(E1,F1,F2)、発表(J1,J2,K1,M1)、討論(K2,L1)を行う。 ③予習(180分) 発表者はプレゼンのためのリサーチと資料作成。他のゼミ生は発表テーマに関して予習を行う。 ④復習(60分) 発表者は次回プレゼンに向けて課題と論点の整理。
関連科目	ゼミナール I (RMGT4601)、ゼミナール II (RMGT4602)、政治学1(RMGT/SSCS1139)、国際政治学(RMGT3552)、国際法(RMGT3451)、外交史(RMGT3556)	
教科書	特にありません。	

参考書・参考URL	個人研究に必要な参考文献は、適時紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■ 連絡先 開講時に告知します。 ■ オフィスアワー 火曜日3限。アポイントを取って下さい。
研究比率	■ 危機管理領域との対応 グローバルセキュリティー50%：パブリックセキュリティー30%：災害マネジメント10%： 情報セキュリティー10% ■ 危機管理と法学とのバランス 危機管理学70%：法学30%

